



ビジネスレポート Vol. 6

2015年4月1日 ▶ 2015年9月30日

技術の翼と革新の心。
Wings of technology and spirit of innovation.



第26回UBEビエンナーレ(現代日本彫刻展) 宇部興産株式会社賞「空をみんなで眺める」 志賀政夫

Contents

1 トップメッセージ

2-3 トピックス

機能膜(セパレーター)の設備増強を決定 ほか

4 2015年度中間連結業績ハイライト

裏表紙 会社情報・株式情報

宇部興産株式会社

証券コード 4208

“ビジネスレポート”をお届けするにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

当中間期の経済情勢は、米国では回復が続き、欧州でも緩やかに回復の動きが見られ、アジアでは中国で景気に減速感が見られるものの、世界経済は全体としては緩やかな回復が続きました。国内経済は、個人消費が総じて底堅い動きとなり、企業部門に改善の動きがでるなど、景気は、輸出など一部に弱さが見られるものの、緩やかな回復基調をたどりました。

このような状況の下、当社グループは、2013年度から三カ年の中期経営計画「Change & Challenge - 更なる成長に向けて - 」の基本方針に基づき、その最終年度として、化学部門の早期収益回復をはじめ、各事業課題の解決に向け取り組んでまいりました。また、当中間期においては、石炭・原油等原燃料の価格低下なども業績に寄与しました。

この結果、当中間期における当社グループの連結業績は増収増益となりました。

今後の経済情勢につきましては、国内は景気の緩やかな回復基調が続くことが期待されるものの、中国をはじめとする新興国経済の先行きや、米国における金融政策の動向、原油など原燃料価格の先行きといった世界景気の下振れリスクが懸念され、不透明な事業環境が続くことが見込まれます。

こうした情勢を踏まえ、株主の皆様には誠に申し訳なく存じますが、中間配当は見送らせていただきたく、なにとぞご了承賜りますようお願い申し上げます。

なお、期末配当につきましては1株につき5円とさせていただきます予定です。

当社グループは、引き続きグループの総力を結集し、可能な限り収益の底上げを図るとともに公正な企業活動を推進し、グループの創業時の理念である「共存同栄」の精神の下、社会との共生を目指し、株主の皆様や資本市場をはじめ、取引先・従業員・地域社会等、すべてのステークホルダーからの信託をさらに深めるべく取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

山本 謙

UBEグループビジョン

UBEグループは「共存同栄」「有限の鉱業から無限の工業へ」という創業の理念を踏まえ、右記のグループビジョンを掲げ、化学を中心とした独自技術で未来の価値を創造しています。

技術の翼と革新の心。
世界にはばたく私たちのDNAです。

フロンティアスピリットを胸に、無限の技術で世界と共生するUBEグループは、次代の価値を創造し続けます。

4月 化学部門を統合し、「化学カンパニー」へ

4月 宇部興産建材(株)が営業開始

5月 高分散性ストロンチウムナノ粒子を新開発 1

5月 アレルギー性疾患治療剤「タリオン®錠」「タリオン®OD錠」が国内で小児適応追加の承認取得

7月 宇部興産機械(株)が東洋機械金属(株)と共同開発した新型ダイカストマシンを上市 2

8月 マレーシアで合成ゴム工場が開所式を開催 3

8月 「UBEグループCSR報告書2015」を発行

9月 船舶用セルフレベルング材「U/DシップレベラーA」が国土交通省の型式承認書を取得

9月 (株)三和化学研究所と難治性のそう痒症治療薬に関する共同開発を開始 4

9月 機能膜(セパレーター)の設備増強を決定 5

9月 ポリイミドワニスで新ブランド「ユピア」を立ち上げ

9月 石灰石骨材を20万トン増産 6

■化学 ■医薬 ■建設資材 ■機械・金属成形 ■本社部門 ■研究開発本部

Topics

1

高分散性ストロンチウム ナノ粒子を新開発

光学用途向けの高分散性炭酸ストロンチウムナノ粒子の合成に、世界で初めて成功しました。現在使用されている液晶や有機ELディスプレイなどの光学フィルム向け位相差フィルム*は、樹脂フィルムをいくつも重ねて製造しますが、工程が複雑でコストが高いという課題がありました。当社が開発した高い分散性をもつナノサイズの粒子を樹脂フィルムに添加することで、薄膜化、大型化が可能となり、更に視野角アップや画像が鮮明になるといった性能向上が期待できるため、光学材料分野で幅広く採用されるよう取り組んでまいります。



ストロンチウムナノ粒子



一般的な液晶の構成

*液晶ディスプレイ等を斜め方向から見た際の光の歪みや偏りを補正して、画面が正しく見える角度を広くする目的で使用されるフィルム

Topics

2

宇部興産機械(株)が 東洋機械金属(株)と共同開発した 新型ダイカストマシンを上市

宇部興産機械(株)と東洋機械金属(株)は、新型ダイカストマシン(UB650iCとUB800iC)を16年3月までに発売することを決定しました。本機は高剛性型締機構を新たに設計開発した最新鋭モデルであり、射出システムには宇部興産機械(株)が自社開発した電動サーボバルブを使ったシステムを搭載するなど、高機能、高剛性を実現しています。今回の新型モデルにより、iCシリーズは350~800tのフルラインアップとなります。中型機のニーズが高まっている中国自動車部品市場をはじめ、韓国・東南アジア・インドなどにも順次販売していく予定です。



Topics

3

マレーシアで合成ゴム工場が開所式を開催

当社とロッテケミカルグループ(韓国)が合併にてマレーシアに設立した合成ゴム工場が、8月24日に関係者500名を招き開所式を開催しました。UBEグループとしては、千葉・タイ・中国に次ぐ4番目の合成ゴムの拠点となります。マレーシアの工場の稼働により、当社の製造能力は年間32万トンまで拡大しました。合成ゴムはアジアではエコタイヤ向けなどで需要が大きく伸びると見込まれていることから、需要動向を見ながら、今後も更なる能力増強を進めてまいります。



Topics

4

(株)三和化学研究所と難治性のそう痒症治療薬に関する共同開発を開始

当社と(株)三和化学研究所は、両社の共同研究により見出した化合物について、難治性のそう痒症治療薬として共同開発を行うことにしました。難治性のそう痒症とは、慢性腎不全やアトピー性皮膚炎、慢性肝疾患などを原因として生じる慢性的な強いかゆみですが、抗ヒスタミン薬などでもかゆみが抑えられないため、新薬の開発が望まれています。既に第1相臨床試験を開始しており、今後、両社で協力しながら開発を進め、製造販売承認の取得を目指します。



Topics

5

機能膜(セパレーター)の設備増強を決定

リチウムイオン電池の主要部材のひとつである機能膜(セパレーター)の能力増強を決定しました。リチウムイオン電池は電気自動車、ハイブリッド自動車等の自動車向けを中心に、需要が大きく伸びています。また、蓄電用途や産業用途への展開も更に進むことが想定されます。まずは2016年に宇部工場の既存設備の再構築による能力増強を進め、続いて2017年に堺工場での新増設を行います。今後も需要の伸びに応じ、タイムリーに製造設備の増強に対応してまいります。



Topics

6

石灰石骨材を20万トン増産

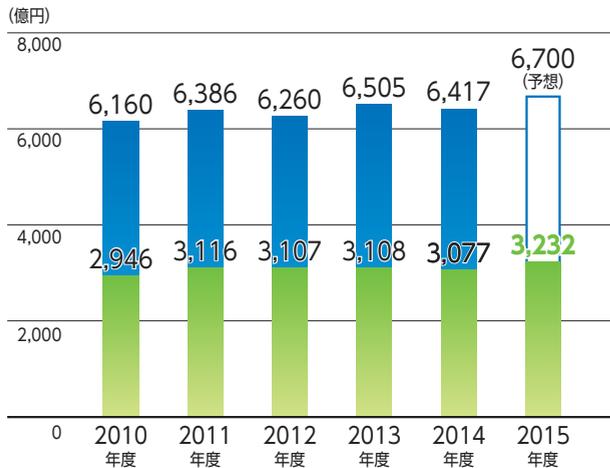
主に首都圏湾岸の生コン会社向けに、石灰石骨材を製造・販売しておりますが、湾岸地区は東京オリンピックの特需の他、リニア関連の工事など中長期的に大型物件が期待できることから、16年度より石灰石骨材を年間20万トン増産することを決定しました。これにより、首都圏における急激な需要増に対応可能な体制を確立し、石灰石骨材の供給責任を果たしてまいります。



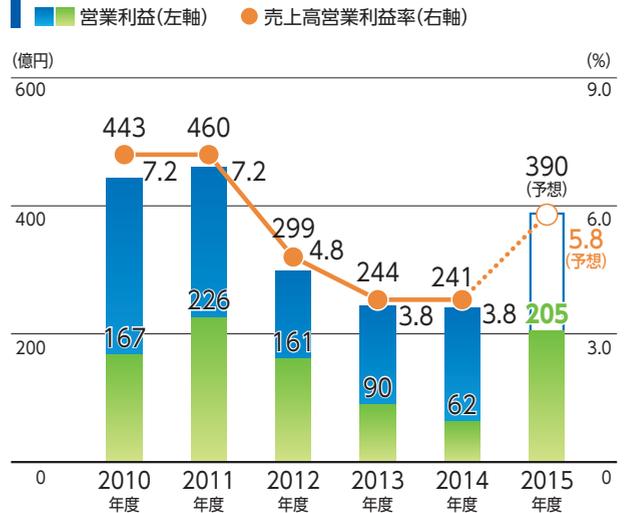
2015年度中間連結業績ハイライト

● 中間 ● 通期

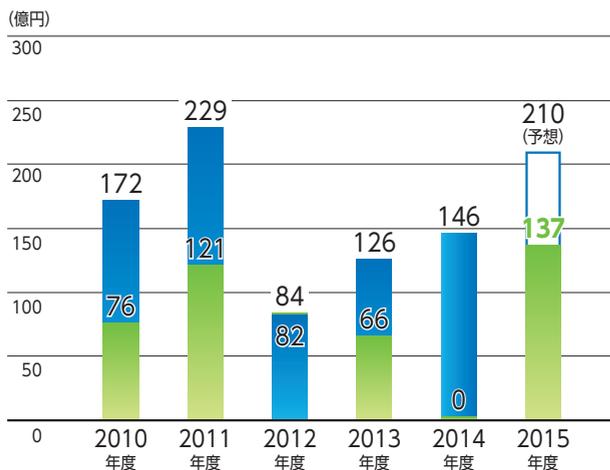
売上高



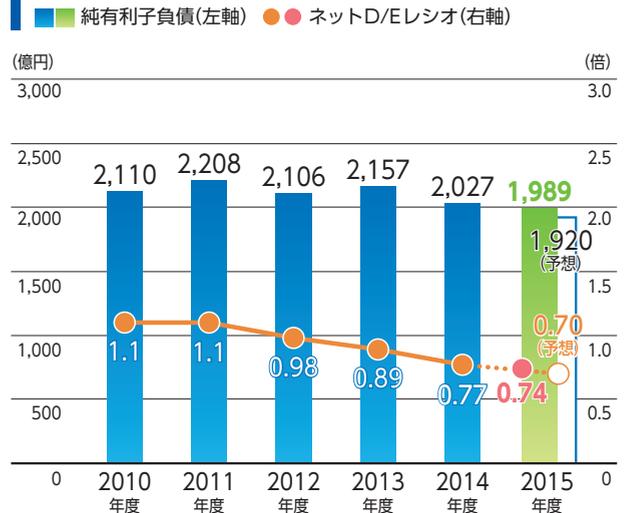
営業利益と売上高営業利益率



親会社株主に帰属する中間 (当期) 純利益



純有利子負債とネットD/Eレシオ*



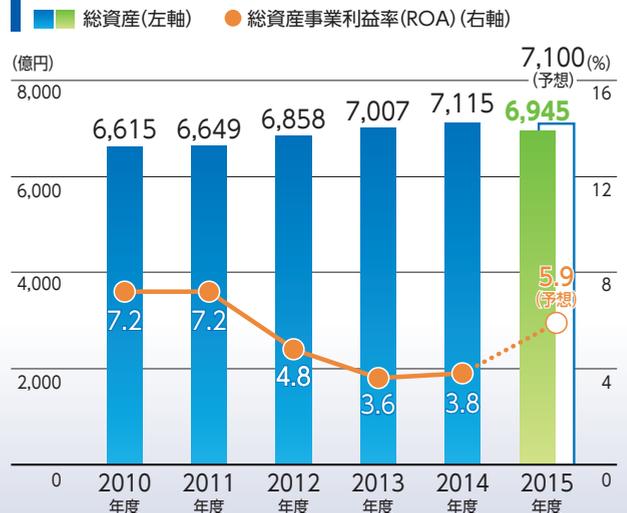
*ネットD/Eレシオ = 純有利子負債 (=有利子負債-現金・現金同等物) / 自己資本

自己資本と自己資本比率*



*自己資本比率 = 自己資本 (=純資産-新株予約権-非支配株主持分) / 総資産

総資産と総資産事業利益率 (ROA)*



*総資産事業利益率 (ROA) = 事業利益 (=営業利益+受取利息+受取配当金+持分法投資損益) / 総資産

会社情報・株式情報

会社概要 (2015年9月30日現在)

設立 1942 (昭和17)年3月
資本金 58,434百万円
従業員数 3,740人 (連結 10,819人)
連結対象会社 95社
 (連結子会社70社、持分法適用会社25社)
ホームページアドレス <http://www.ube.co.jp>

役員 (2015年9月30日現在)

取締役

取締役会長 竹下 道夫
代表取締役社長 山本 謙
代表取締役 杉下 秀幸
取締役 松波 正
取締役(社外) 草間 高志
取締役(社外) 照井 恵光
取締役(社外) 庄田 隆
取締役(社外) 蔭山 真人

監査役

常勤監査役 三宅 節郎
常勤監査役 久保田 隆昌
監査役(社外) 落合 誠一
監査役(社外) 須田 美矢子

株式の状況 (2015年9月30日現在)

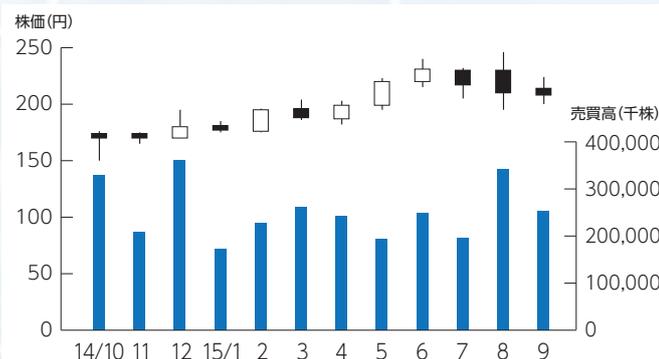
発行可能株式総数 3,300,000,000株
発行済株式総数 1,059,975,435株 (自己株式2,025,641株を除く)
株主数 71,859名

大株主(上位10名)

株主名	株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	81,713	7.71
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	48,767	4.60
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	26,960	2.54
日本生命保険相互会社	20,000	1.89
住友生命保険相互会社	20,000	1.89
BBH BOSTON CUSTODIAN FOR BLACKROCK GLOBAL ALLOCATION FUND, INC. 620313	18,241	1.72
CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY	18,055	1.70
株式会社山口銀行	15,482	1.46
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	14,954	1.41
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	14,506	1.37

(注)持株比率は、発行済株式総数から自己株式数(2,025,641株)を控除して算出しております。

株価及び出来高 (東京証券取引所)



配当金推移

1株当たり配当金

2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
5.0円	5.0円	5.0円	5.0円	5.0円	5.0円 (期末配当予定)

株主メモ

事業年度	毎年4月1日より翌年3月31日まで
定時株主総会開催時期	毎年6月下旬開催
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
公告の方法	電子公告 (http://www.ube.co.jp)
株主名簿管理人 特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(同連絡先)	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-232-711 (通話料無料)

株式に関するお手続きについて

お手続きの内容	証券会社の口座を開設されている株主様のお問い合わせ先	証券会社の口座を開設されていない株主様のお問い合わせ先
単元未満株式の買取・買増	お取引先の証券会社	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
住所・氏名などの変更		
株式の口座振替請求		
配当金受取り方法の指定	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部	
未払配当金のお支払		
その他株式事務について		

単元未満株式(当社では1~999株)の買取・買増について

当社株式の市場取引は1,000株単位となっております。単元未満株式をお持ちの場合、端数の株式が整理できる買取・買増制度を設けております。

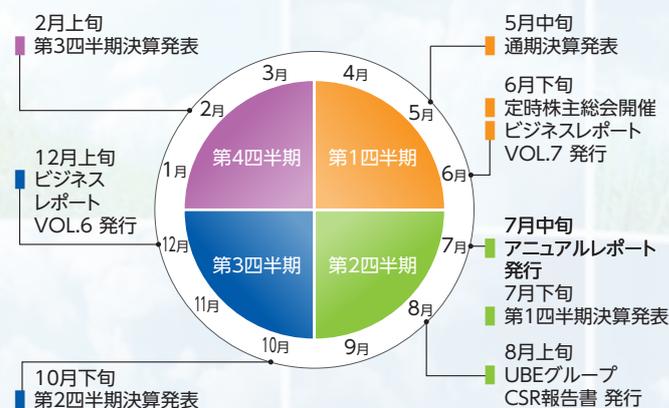
買取請求とは

お持ちの単元未満株式を、当社に対して時価で売却することができの手続きです。

買増請求とは

お持ちの単元未満株式と合わせて1単元(1,000株)となるように、当社に対して時価で単元未満株式の売り渡しを請求することができる手続きです。

IRカレンダー (2015年12月~2016年11月)



宇部興産株式会社

東京本社 〒105-8449 東京都港区芝浦1-2-1 シーバンスN館
宇部本社 〒755-8633 山口県宇部市大字小串1978-96



※本ビジネスレポートに記載されている事項には、将来についての計画や予想に関する記述が含まれています。実際の業績は当社の予想と大きく異なることがありますをご承知おきください。

環境に配慮した古紙/パルプ配合率70%再生紙と植物油インキを使用しています。見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。